



ジョセフ・ロビンソン

ニューヨーク
パートナー

Tel: +1 212 547 5509
Fax: +1 212 547 5444
jrobinson@mwe.com

専門分野・産業

- Intellectual Property
- IP Litigation
- Japan
- Licensing
- Life Sciences – IP
- Trademark/Brand Protection & Enforcement

学歴

- Pace University School of Law, J.D. (*cum laude*), 1988
- Rensselaer Polytechnic Institute, B.S., 1973

マクダーモット・ウィル・アンド・エメリー法律事務所 (“McDermott Will & Emery”) パートナー弁護士。ニューヨークオフィス勤務。

「IP・メディア・テクノロジー部門」に所属し、バイオテクノロジー技術、製薬・化学技術、機械技術などの権利獲得、特許訴訟、相談・助言を主業務とし、商標においても権利取得、相談・助言、訴訟案件に従事する。

特許関連の訴訟や以下の分野の相談・助言に豊富な経験を持つ。

農業技術、組換え DNA 分子生物学、製薬、酵素技術、電気化学、食品化学、有機化学、プラスチック類、発電施設、繊維織物類、複合ペーパーハンドリング機器、ハッチ・ワックスマン法関連。また、獲得した特許の発明分野は、製薬、自己免疫疾患、感染症、薬物送達システム、ワクチン、遺伝子組換えの植物・微生物・動物、農芸化学、有機・無機化学、物理化学、高分子化学、補綴、繊維加工など多岐に亘る。

また、バイオテクノロジー・製薬関連のライセンスやブランド・ライセンスにおいて、ライセンス契約交渉や契約書作成、企業間の M&A 業務を得意とし、インターフェランス手続き、再発行・再審査の手続きを手掛けてきた。

米国知財法の最新動向とその国際的な影響をテーマに、ヨーロッパや日本での講演を精力的に行っている。米国誌「スーパー・ロイヤーズ」ではニューヨークのトップ弁護士として取り上げられた。ニューヨーク州、コネチカット州、連邦最高裁判所、連邦第 2 巡回控訴裁判所、ニューヨーク東部・南部の地方裁判所において認可弁護士。米国特許商標庁登録特許弁護士。

経験例

- 産業用酵素に関する特許訴訟でバイオ・ソリューション企業を代理
- ヒト成長ホルモン及びインスリンに関する特許訴訟で糖尿病ケア企業を代理
- クラッチ、デュアルマスフライフィールに関する特許訴訟で R&D のトップ企業を代理
- 情報伝達システム及びディスプレイ・ドライバに関する特許

訴訟で家庭用電化製品企業を代理

